

「第二次中津川市子ども読書活動推進計画」の策定について

1. 基本的な考え方

「未来を担う子どもたちがあらゆる機会と場所で読書活動ができるよう、本に親しむ機会や読書環境の充実を目指し、具体的な方策・目標を明らかにし、その施策を家庭、地域、学校、関係団体・機関が連携して一元的かつ計画的に推進する」という「中津川市子ども読書活動推進計画（平成 24～28 年度）」（H24.3 策定）を継承する。図書館協議会の進捗評価及び実施事業担当部署・団体からの自己評価にヒアリングやアンケートを加え、成果と課題を検証してより実情に沿ったものとする。計画期間は平成 31～34 年度。

2. 第一次計画の成果と課題

- ・ 104 施策、225 事業のうち 完了 4 事業、継続 216 事業、未着手 5 事業
- ・ 家庭での読み聞かせや親子読書がすべての園、小・中学校で取り込まれ、全小中学校の図書館で図書標準冊数が達成され、読書量が増加した。
- ・ 図書館において市民協働のイベントや読み聞かせ会の充実、全市的、定期的な配本巡回を行い、本に出会える環境が充実してきた。
- ・ 図書館司書や学校司書によるアドバイスや支援が求められている。
- ・ 障がいのある子どもや外国語を母語とする子どもたちへの支援が進んでいない。

3. 策定スケジュール

- ・ 6月中旬～7月下旬 子どもの読書に関するアンケートの実施
対象：未就園・年長の保護者、小学5年生・中学2年生・高校2年生とその保護者
- ・ 8月～11月 策定委員会にて計画案作成
- ・ 12月 パブリックコメント
- ・ 1月下旬 策定完了

4. 国・県の動向

- ・ 国：「子どもの読書活動の推進に関する法律」（H13）
「子供の読書活動の推進に関する基本的計画（第四次）」（H30.4～34）
- ・ 県：「岐阜県子どもの読書活動推進計画（第三次）」（H27～31）

5. 「子どもの読書に関するアンケート調査」について

(1) 目的

- ・市内の子どもたちと保護者の読書活動の実態、読書環境の現状を把握するため
- ・第1次計画を策定する際、同様のアンケートを実施、比較資料となるよう、同様な内容とし、成果のあった点、課題が残った点を明らかにしながら、第2次計画に反映する。

(2) 対象

市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校

- ①未就園児の保護者
- ②幼稚園・保育園の5歳児の保護者 4園・約120名
(杉の子幼稚園・坂本幼稚園・中津川保育園・蛭川保育園)
- ③小学5年生とその保護者 8校・約170名(1校1クラス分)
(東・苗木・落合・神坂・山口・川上・付知北・加子母)
- ④中学2年生とその保護者 7校・約230名(1校1クラス分)
(第一・第二・坂本・阿木・坂下・福岡・蛭川)
- ⑤高校2年生とその保護者

(3) 実施方法

- ①図書館から対象の各園、学校へアンケート用紙を配布
- ②各園・学校で各クラスへアンケート用紙を配布・回収
- ③図書館からアンケート用紙の回収

(4) スケジュール

- 平成30年6月中旬 各学校へアンケート用紙を配布
各学校にて、対象クラスに配布・回収
- 平成30年7月中旬 各学校より回収
アンケート集計・分析

(5) アンケート案

- ①小学5年生向け
- ②中学2年生、高校2年生向け
- ③未就園児の保護者向け
- ④幼稚園・保育園の5歳児の保護者向け
- ③小学5年生・中学2年生の保護者向け
- ④高校2年生の保護者向け